

平成30年

5月1日

No.233

まつど議会だより

発行／松戸市議会
編集／広報委員会
千葉県松戸市根本387-5
TEL 047(366)7382



松戸市議会の情報はホームページからもご覧いただけます。(http://www.city.matsudo.chiba.jp/gikai/index.html) 右のQRコードもご利用ください。

東京外かく環状道路(三郷南IC~高谷JCT)が平成30年6月2日に開通します



本市初のインターチェンジ「松戸IC」が設置されることで、湾岸エリアの観光拠点等へのアクセス性が期待されます。さらに、国道298号の開通により、市川・松戸間の地域が初めて4車線道路で結ばれ、沿線地域の渋滞が緩和し、生活道路の安全性の向上に寄与します。

■問い合わせ先 街づくり部都市計画課 TEL 047(366)7372

市議会トピックス

議案第59号の審議から

平成30年度一般会計予算を修正

詳細は3面「一般会計予算の修正について」に記載しています。

3月定例会

平成30年3月定例会を2月22日から3月23日まで開催しました。今定例会では、市長・教育長の施政方針等に対する各党派の代表質問を行いました。また、市長から提出のあった教育委員会教育長の任命議案1件、人権擁護委員候補者の推薦議案2件それぞれに同意しました。さらに、29年度補正予算案8件を可決しました。

このほか、市長が提出した30年度予算に関する議案10件や条例などの一般議案36件を、それぞれの委員会において審査しました。

30年度一般会計予算を審査する過程では、市長の提案する「まちづくり用地活用事業」、「商店街活性化指導事業」、「松戸駅周辺地域活性化事業」について、委員会での審査のなかで疑問が解消されない点があり、予算措置理由が認め難いとして7人の委員から修正案が提出され、審査の結果、修正案を可決しました。

最終日には、これらの案件のほかに議員提出議案8件を上程し、採決しました。(2面に審議結果、3面に予算審査の主な質疑、4面に討論を掲載)

議会を傍聴しませんか

●問い合わせ先
市議会事務局庶務課
TEL 047(366)7381

松戸市議会の情報をホームページで公開しています。



松戸市議会

検索



議会中継

本会議の様子は、松戸市ホームページのまつど市議会の「インターネット議会中継」からご覧いただけます。パソコンだけでなく、スマートフォン・タブレット型端末でも視聴が可能です。

ライブ放映は、本会議開始から終了まで議場の様子を放映します。ライブ放送終了後は、会議開催日の翌日夜から録画を公開しています。

また、「松戸市議会会議録検索システム」では、過去の会議録も公開していますので、どうぞご利用ください。

インターネット放映アクセス件数422,735件
(平成17年6月開設～平成30年3月末)

声の議会だよりをご利用ください

松戸朗読奉仕会の協力を得て、視覚障害の方を対象に、議会だよりを朗読した録音物の貸し出しをしております。

●問い合わせ先

松戸市障害者福祉センター(ふれあい22内)
TEL 047(383)7111

3 月 定 例 会 審 議 結 果

番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	採決	番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	採決
市長提出議案					議員提出議案				
第51号	平成29年度松戸市一般会計補正予算(第6回)	総務財務	可決	多数意見	第83号	松戸市保育士就職支援資金貸付条例の制定	健康福祉	可決	多数意見
第52号	平成29年度松戸市国民健康保険特別会計補正予算(第2回)	健康福祉	可決	多数意見	第84号	平成28年度及び平成29年度に係る松戸市保育士就職支援資金貸付金の返還に係る債務を免除する条例の制定	健康福祉	可決	多数意見
第53号	平成29年度松戸市松戸競輪特別会計補正予算(第1回)	建設経済	可決	多数意見	第85号	松戸市放課後児童クラブ運営事業者選考委員会条例の制定	健康福祉	可決	全会一致
第54号	平成29年度松戸市下水道事業特別会計補正予算(第1回)	建設経済	可決	全会一致	第86号	松戸市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定	健康福祉	可決	多数意見
第55号	平成29年度松戸市介護保険特別会計補正予算(第2回)	健康福祉	可決	多数意見	第87号	松戸市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定	健康福祉	可決	多数意見
第56号	平成29年度松戸市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)	健康福祉	可決	多数意見	第88号	松戸市介護保険条例の一部を改正する条例の制定	健康福祉	可決	多数意見
第57号	平成29年度松戸市水道事業会計補正予算(第1回)	建設経済	可決	全会一致	第89号	松戸市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定	健康福祉	可決	多数意見
第58号	平成29年度松戸市病院事業会計補正予算(第2回)	病院特別	可決	多数意見	第90号	松戸市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	健康福祉	可決	全会一致
第59号	平成30年度松戸市一般会計予算 修正案	予算審査特別委員会	可決	多数意見	第91号	(仮称)松戸市リサイクルプラザ整備事業者選考委員会条例の制定	教育環境	可決	全会一致
	平成30年度松戸市一般会計予算修正議決した部分を除く原案		可決	多数意見	第92号	松戸市都市農業振興計画推進委員会条例の制定	建設経済	可決	全会一致
第60号	平成30年度松戸市国民健康保険特別会計予算		可決	多数意見	第93号	松戸市自転車競走実施条例の一部を改正する条例の制定	建設経済	可決	多数意見
第61号	平成30年度松戸市松戸競輪特別会計予算		可決	多数意見	第94号	松戸市入札監視委員会条例の制定	総務財務	可決	全会一致
第62号	平成30年度松戸市公設地方卸売市場事業特別会計予算		可決	全会一致	第95号	松戸市営住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	建設経済	可決	全会一致
第63号	平成30年度松戸市駐車場事業特別会計予算		可決	全会一致	第96号	松戸市都市公園条例等の一部を改正する条例の制定	建設経済	可決	全会一致
第64号	平成30年度松戸市介護保険特別会計予算		可決	多数意見	第97号	松戸市都市公園整備活用推進委員会条例の制定	建設経済	可決	全会一致
第65号	平成30年度松戸市後期高齢者医療特別会計予算		可決	多数意見	第98号	松戸市消防団条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	全会一致
第66号	平成30年度松戸市水道事業会計予算		可決	全会一致	第99号	松戸市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	全会一致
第67号	平成30年度松戸市病院事業会計予算		病院特別	可決	多数意見	第100号	松戸市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定	健康福祉	可決
第68号	平成30年度松戸市下水道事業会計予算	予算特別	可決	全会一致	第101号	契約の締結(上本郷第二小学校屋内体育館新築工事)	教育環境	同意	全会一致
第69号	松戸市監査委員に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	全会一致	第102号	財産の取得	健康福祉	同意	多数意見
第70号	松戸市図柄入りナンバープレート選考委員会条例の制定	総務財務	可決	多数意見	第103号	和解及び損害賠償の額の決定	総務財務	同意	全会一致
第71号	松戸市個人情報情報の保護に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	全会一致	第104号	あっせんの申立て	教育環境	同意	全会一致
第72号	松戸市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	全会一致	第105号	教育委員会教育長の任命(伊藤純一氏)	—	同意	全会一致
第73号	松戸市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	多数意見	第106号	人権擁護委員候補者の推薦(森めぐみ氏)	—	同意	全会一致
第74号	松戸市技労職員の給与の種類及び基準に関する条例及び松戸市公営企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	多数意見	第107号	人権擁護委員候補者の推薦(藪田京子氏)	—	同意	全会一致
第75号	松戸市職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	全会一致	議員提出議案				
第76号	松戸市職員退職手当支給条例等の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	多数意見	第20号	教職員定数の改善を求める意見書	—	否決	多数意見
第77号	東松戸まちづくり用地活用事業プロポーザル審査委員会条例を廃止する条例の制定	総務財務	可決	全会一致	第21号	医療・介護施設の経営改善及び医療・介護従事者の確保に資する診療報酬、介護報酬の改善を求める意見書	—	否決	多数意見
第78号	松戸市手数料条例の一部を改正する条例の制定(汚染土壌処理業許可審査手数料関係)	教育環境	可決	全会一致	第22号	生活保護費の引き下げ中止を求める意見書	—	否決	多数意見
第79号	松戸市手数料条例の一部を改正する条例の制定(貯蔵所設置許可審査等手数料関係)	総務財務	可決	全会一致	第23号	日本国憲法を国政に生かすよう求める意見書	—	否決	多数意見
第80号	松戸市戸定歴史館条例の一部を改正する条例の制定	教育環境	可決	全会一致	第24号	所有者不明の土地利用を求める意見書	—	可決	多数意見
第81号	松戸市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	健康福祉	可決	全会一致	第25号	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー法)の改正及びその円滑な施行を求める意見書	—	可決	全会一致
第82号	松戸市保育士養成修学資金貸付条例の制定	健康福祉	可決	多数意見	第26号	洪水回避等を目的とした流量確保のための中小河川の河道掘削の予算の確保を求める意見書	—	可決	全会一致
					第27号	委任専決事項の指定についての一部を改正する指定	—	可決	全会一致

人事案件

教育委員会教育長の任命、人権擁護委員2人の推薦に同意しました。(敬称略)

- 教育委員会教育長 伊藤 純一
- 人権擁護委員 森めぐみ
- 藪田京子

意見書 3件提出

地方自治法第99条の規定により国会および関係行政庁に対し、下記の意見書を提出しました。

- 所有者不明の土地利用を求める意見書
- 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー法)の改正及びその円滑な施行を求める意見書
- 洪水回避等を目的とした流量確保のための中小河川の河道掘削の予算の確保を求める意見書

議案第59号 平成30年度松戸市 一般会計予算の修正について

●まちづくり用地活用事業

東松戸地区に、支所や図書館等の複合施設を整備するためのコンサルタント業務委託費800万円を削除。

東松戸地区の複合施設整備に関わる、平成30年度以降7年間の経費の限度額11億2777万2千円を削除。

●商店街活性化指導事業

伊勢丹松戸店閉店後における、松戸駅周辺の中心市街地活性化のためのイベント開催や循環バスの費用等2億900万円を削除。(ただし小規模な地域イベントを除く)

●松戸駅周辺地域活性化事業

国道6号から矢切観光拠点へのアクセス道路の詳細設計費1000万円を削除。

予算のあらまし

会計名			予算額(千円)	伸長率(%)
一般	総務	費	10,523,244	5.9
	民生	費	74,261,073	0.7
	衛生	費	15,817,743	△4.6
	労働・農林水産	費	441,764	18.3
	商工	費	977,949	8.4
	土木	費	13,693,637	△5.4
	消防	費	6,775,347	10.3
	教育	費	13,358,781	4.2
	その他		11,923,462	10.5
	計	147,773,000	1.4	
特別	国民健康保険		46,546,247	△20.3
	松戸競輪		21,408,876	22.9
	公設地方卸売市場事業		113,129	△20.1
	駐車場事業		219,002	146.1
	介護保険		35,236,800	△0.7
	後期高齢者医療		5,691,026	6.8
企業	水道事業		2,299,405	0.5
	病院事業		25,163,919	△36.6
	下水道事業※		20,819,991	皆増
合計			305,271,395	△4.2

※下水道事業は、平成30年度より特別会計から企業会計へ移行。

予算審査特別委員会委員

委員長	幸範
副委員長	正茂
委員	織原 大谷 正 幸 大田 茂 きよ 平塚 健 一 大東 英 一 伊谷 剛 士 市川 剛 一 渋谷 正 美 城所 正 雄 張替 勝 薫 谷口 剛 二階堂

予算審査 特別委員会 の審査から

平成30年度予算(10会計)を可決

※病院事業会計は市立病院検討特別委員会にて審査しました。

一般会計

総務費

市民参加型街頭防犯ネットワークカメラ

問 通学路における市民参加型街頭防犯ネットワークカメラの設置状況は。また、青色回転灯装備車(青パト)による防犯パトロールの状況について伺う。

答 カメラの設置については、平成15年度から街頭犯罪の抑止を主な目的として駅周辺等に設置してきた。しかし、29年に発生した六実地区での女児殺害事件により、防犯カメラ設置について多くの要望をいただいたことから、30年度には防犯カメラ30台を小学校の通学路に設置したいと考えている。また、市民安全対策パトロール事業として、現在、委託業者が平日午後2時30分から午後11時まで青パト4台体制でパトロールを行っているが、六実地区の事件を受け30年度からは、児童が登校する午前7時から9時までの時間帯に拡大しパトロールを実施したい。

民生費

障害児支援関係業務とは

問 障害児支援関係業務の内容と今後の対応について伺う。

答 医療的ケア児支援の取り組みとして、介護職員による医療的ケア実施推進のため、喀痰吸引等研修の受講費用助成を行う。また、在宅医療を行う医師等が放課後等デイサービスなどに配置された看護師へ訪問巡回指導を行う体制を整備する。さらに、家族の負担軽減には相談支援専門員の役割が重要と考え、医療的ケア児への対応や支援における総合調整力等向上のための研修を実施する。この他に、支援が必要な全ての子どもが、ライフステージごとに支援者が変わっても一貫した支援が受けられるよう、家族や関係機関をつなぐ情報伝達ツールとして、支援内容や支援計画をまとめたライフサポートファイルを作成し有効活用できる体制づくりに努めていく。

商工費

インキュベーション施設運営業務とは

問 インキュベーション施設運営業務とは、具体的にどのような内容となるのか伺う。

答 インキュベーション施設とは、創業間もない事業者を支援するため、負担の少ない入居費用で事務所スペースを貸し出すとともに、専門家による事業計画へのアドバイス、経営ノウハウの提供、マーケティング支援などを2年間程度行い、事業者を育成させる施設である。当該業務は、松戸駅周辺の空きスペースに当該施設を整備し、企業経営に知見を有するインキュベーションマネージャーを配置し、さまざまな支援を行うことで、入居者が事業を拡大させ、松戸市内において、事業を継続することで市内にオフィスが増え、雇用を創出する仕組みを整えることを目的としている。

土木費

木造住宅の耐震診断費の補助要件

問 木造住宅の耐震診断費の補助要件を平成12年5月31日以前に建築された建物まで拡充した理由は。

答 平成28年4月に発生した熊本地震では、旧耐震基準の木造住宅だけでなく、新耐震基準の木造住宅のうち、阪神・淡路大震災を受けて木造建築物の耐震基準をより強固にした12年5月31日以前の基準で建築された木造住宅も倒壊等の被害が見られた。これを受けて国土交通省から29年5月に新耐震基準の木造住宅についても補助・拡充を検討するよう通知があった。本市も現在の補助要件から12年5月31日以前に建築された木造住宅までを対象とした助成に拡充することにより、本市の住宅耐震化を広めたいと考える。

教育費

小学校要保護及び準要保護児童就学援助費

問 小学校要保護及び準要保護児童就学援助費について、増額の理由は。さらに新小学1年生に対する新入学用品費を補正予算措置する予定はあるか。

答 増額の理由については、平成31年度新中学生に対する、新入学用品費を小学校6年生時点で前倒し支給する分が2千万円、新入学用品費を増額する分が800万円、および修学旅行費を全額支給するものである。なお、30年度分は、29年9月補正予算で実施した。また、新小学1年生への新入学用品費の前倒し支給は、29年度に先行実施された近隣市の申請状況、課題を調査研究し、本市においても実施可能であれば、小学校入学前支給の30年度補正予算措置を検討する。

企業会計

下水道事業

下水道料金の徴収一元化

問 本市の千葉県給水区域における下水道料金の徴収一元化について、どのようになっているか。

答 上下水道料金の徴収一元化については、平成24年に発足した千葉県と11市からなる徴収一元化協議会の中で検討を重ねてきたが、費用対効果の検証結果などから見送ってきた経過がある。しかし、29年度の協議会で千葉県から1件当たりの徴収単価の大幅な減額が提示されるなど、状況が変化していることから、課題の見直しや共通認識の形成を図ってきた。本市としても市民サービスおよび収率の向上などにつながる重要課題であるため、徴収一元化への準備を進めていく。

予算討論

平成30年度予算案について、定例会最終日に討論を行いました。ここでは、会派の討論を紹介します。なお、今回から、割り当てられた討論時間に応じた紙面配分で掲載しています。

公明党

平成30年度一般会計の修正案に反対し、修正削除された部分を除く原案、各特別会計および各企業会計に賛成する。

新年度予算については、市民福祉の増進に配慮されているか、計画事業の着実な進捗がなされた予算編成となっているかを重点に、慎重に検討し審査に臨んだ。

一般会計予算の修正案については、総務費におけるまちづくり用地活用事業の中のコンサルタント費用および債務負担行為では、これまで議会は手続きなどの説明を受けてきており、募集方法・競争原理・地価設定などを承してきた経過がある。修正削除となれば、民間活力の活用の道が閉ざされるだけでなく、東松戸地区の公共施設整備が大きく遅れるものと考え反対する。

経営改革の前倒しを行うべく、歳入の改善とともに、歳出の改善を努力することを強く要望し賛成とする。

まつど市民

平成30年度一般会計の修正案ならびに修正案を除く原案、各特別会計および各企業会計に賛成する。

移転建て替えが表明されている市役所本庁舎をはじめ、公共施設再編整備など、多額の予算を伴う事業を控えている中、将来の財政状況を考慮に入れて審査を行った。

一般会計の修正案は、次の理由から、それぞれの事業に対する予算の削除に賛成する。総務費のまちづくり用地活用事業では、東松戸の当該用地の売却価格が低く、また、事業内容も地域住民のニーズを反映した施設とは思えないため、事業の見直しを求め、商工費の中心市街地緊急活性化業務では、伊勢丹松戸店の閉店後、松戸駅周辺のまちづくりとして、無料循環バスを通し、松戸駅周辺の回遊性の向上を考えているようだが、その効果には疑問がある。

市民クラブ

業の実行の可否を判断できるような、事業の総額と計画の優先順位を示し、検討すること。次に、本市の農業政策を守るために明確な姿勢を示し、乱開発を招かない矢切地区の土地利用方針を示すこと、以上の2点を強く指摘する。

平成30年度一般会計の修正案ならびに修正案を除く原案、各特別会計および各企業会計に賛成する。

一般会計の修正案については、次の理由からそれぞれの事業について、その予算の削除に賛成する。

総務費では、まちづくり用地活用事業においてプロポーザルの応募が1事業者のみだったため、企画力や価格を競い合わせ比較することができていない。その結果、市有財産の処分の方や市民の理解を得られないような内容ではないと考え、当該事業予算とそれに関わる債務負担行為について削除を求める。

政策実行フォーラム

民生費では、保育施設の拡充と子ども・子育て関連施策の強化は本市の主要戦略ではあるが、過度の子育て関連予算への偏在化を指摘し、それぞれの事業評価を明確にした取り組みを期待する。

平成30年度後期高齢者医療特別会計に反対し、一般会計の修正案ならびに修正案を除く原案、その他特別会計および各企業会計に賛成する。

一般会計の修正部分に関しては、債務負担行為のまちづくり用地活用事業のプロポーザルでは、1社しか応募しない入札、当該用地の売却方法、合築による適正な建物管理等に問題があるため反対する。

日本共産党

平成30年度一般会計、国民健康保険・競輪・介護保険・後期高齢者医療特別会計に反対し、病院事業会計他4会計に賛成する。

一般会計では、小規模保育施設の増加や幼稚園の預かり保育、放課後児童クラブの委託化等子どもに関わる分野において、安易な経費削減や効率性追求に向かうことのないよう指摘する。また、公共施設再編が進んでいないにもかかわらず、優先順位もあいまいなまま松戸駅周辺新拠点ゾーン、矢切観光拠点、千駄堀地域の開発が計画されている。

総務費では、市職員等の病気休暇の増加を防ぐため労働環境改善を要望する。民生費の放課後児童クラブの委託化に当たり、各行事等の継続や法人・職員・保護者の不安に対応するよう要望する。教育費は、小学校要保護及び必要保護児童就学援助費を中学校と同様に入学前の支給を要望する。土木費は、矢切公園整備と周辺道路改良が物流倉庫建設への引き金になるのではと危惧するため、都市マスタープラン改定時も矢切が優良な農地利用地域となるよう要望する。

が望んでいることを見極め検討すべきとし反対する。国保会計では、広域化により市民の負担が重くなっていると考える。国の負担割合増加を働きかけるとともに、一般会計からの法定外繰入を検討することにより、保険料を引き下げるよう求め反対する。介護保険会計では、介護需要の増加に伴い、今後も市民の負担増加は避けられないと考え反対する。

後期高齢者医療会計では、常に負担増加が見込まれる年齢差別的な仕組み自体に問題があるとし反対する。病院事業会計には賛成するが、旧市立病院跡地の管理に多額の費用がかかっており、ただちに跡地活用の検討を開始するべきと強く指摘する。

総務財務常任委員会 特定所管事務調査の委員長報告

各常任委員会では、市政の課題を抽出し定例会中だけでなく閉会中も調査研究を行っています。今定例会では、総務財務常任委員会における調査研究の結果を委員長より報告しました。また、これを、議長から市長に対して政策提言として提出しました。

本常任委員会では、「財源のあり方について」を特定所管事務調査事項とし、これまで、クラウドファンディングや公共施設再編整備等について市長に対して政策提言を行い、引き続き財源確保の視点から調査研究を進めてきた。その中で、効率の良い財源確保策として資金運用に注目し、先進市の視察を通じて、債券運用と証券会社等との情報交換の重要性に気付きを得た。

これを踏まえ、現時点ではマイナス金利が続いており、運用の開始時期を見極めることは非常に難しい判断を要するものの、効率的な債券運用の実施が、本市への財源確保策になるとの意見集約に至ったことから、下記のとおり政策提言する。

記

- 1 基金の一括管理などにより、効率の良い債券運用をするための、調査・研究を進めること。
- 2 金融情勢を確認しながら、いつでも運用開始できる状態に備えておくこと。

委員会の審査から

2月23日・26日・3月6日・7日・8日・12日・19日に各委員会を開催し、提出された議案について審査しました。
ここでは、その審査での主な質疑・答弁（要点）を掲載します。

（審議結果は2面に掲載）

総務財務

常任委員会

議案第70号 松戸市図柄入りナンバープレート選考委員会条例の制定について
図柄デザインの募集方法について伺う。

募集方法は、手書きだと図柄がおこしづらいため、デザイン作成ソフトのイラストレーターを使っている。デザインの選定については、ひと目で松戸と分かる特色あるデザインは難しいため、アンケート結果で意見の多い矢切の渡しなどの名所を選考委員会へ示したい。

選考委員会条例では、委員16人以内をもって組織するところだが、委員の人数は多すぎないか。また、ナンバープレートの申請は、松戸単独で行うのか伺う。

現時点では委員数について明言できないが、報酬を支払う人数は13人ぐらいと考えている。また、国の基準では、ナンバーの地名は地理的名称等とし、原則漢字2文字とされていることから、松戸ナンバーでの申請を行った。

健康福祉

常任委員会

議案第85号 放課後児童クラブ運営事業者選考委員会条例の制定
放課後児童クラブの運営を委託化するメリットは。

現在、放課後児童クラブは、市の補助事業であり、各法人が独自の裁量で運営しているため、保育内容等の把握が困難であった。今後、委託事業とすることにより、市が責任を持って、保育の質の向上とサービス内容の平準化を図りたいと考える。

議案第102号 財産の取得（健康福祉会館）
16億円をかけて購入する健康福祉会館（ふれあい22）を今後、どのように活用していくのか。

健康福祉会館は、これまで保健・医療・障害福祉の拠点としての役割を担ってきた。購入後は余剰スペースの活用を進め、福祉型の複合施設としてさらに機能を高めていきたい。また、公共施設再編の視点から庁内で連携し、そのあり方についても検討していきたいと考えている。

教育環境

常任委員会

議案第80号 松戸市戸定歴史館条例の一部を改正する条例の制定について
今回の入館料の見直しが入館者数へどのように影響すると考えるか。

入館料値上げの影響として、入館者数が10%程度減りうることを考えられる。しかし、復元工事により、今まで見ることが出来なかつた東屋などの素晴らしい景観が再現される。今後さまざまな催しや、マスコミへの情報発信などに取り組み、入館者数の確保に努める。

議案第91号（仮称）松戸市リサイクルプラザ整備事業者選考委員会条例の制定について
本事業における民間活力の活用の具体的な内容について伺う。

本事業は、設計、建設、維持管理を一括で民間事業者が行うもので、市が包括発注することで、事業者は将来の維持管理を見据えた、よりコストパフォーマンスの高い施設整備が可能となる。

議案第92号 松戸市都市農業振興計画推進委員会条例の制定について
当該計画策定による本市の農業へのメリットについて伺う。

当該計画では都市農業の重要性を明文化することで広く市民へアピールできるものと考えている。防虫資材を使用した環境にやさしい農業や農産物のブランド化、また、畑婚や観光農業を通し

て都市農業をより身近に感じてもらい、今後の農業の活性化や後継者の育成につなげたい。

議案第93号 松戸市自転車競走実施条例の一部を改正する条例の制定について
競輪場の入場料を無料にすることににより、入場者数が増えることを根拠は。

競輪場の入場料無料化は入場者数増加へのひとつの方策であり、その他、松戸市観光協会と協力し、市の魅力をPRするイベントの実施等、さまざまな方策で、入場者を増やそうと考えている。

市立病院検討

特別委員会

議案第58号 平成29年度松戸市病院事業会計補正予算（第2回）
旧市立病院への安全対策の費用と内容について伺う。

旧市立病院の不審者侵入対策として、敷地全体へのパネル設置、防犯カメラ10台設置、24時間警備員の常駐、建物内機械警備の設置等、総額3千57万円を計上している。この費用は地域住民からの要望等を基に計画したものである。それ以外にも警察によるパトロールの強化を行い、地域住民の不安の軽減に努めていく。

議案第67号 平成30年度松戸市病院事業会計予算
平成30年度の経営改善に向けた重点政策について伺う。

市立総合医療センターは施設のポテンシャルが高いため、急性期病院としての成果をより鮮明にしていきたい。手術室ではバイオクリンルーム等も備えており、高度な手術にも対応できるため、その機能を発揮させ手術件数を増やしていくことが重要と考える。

公明党

岩瀬 麻理

大規模開発についての
財政規律の維持は

相模台地区や矢切観光拠点を含めた松戸駅周辺の開発等の大規模事業が机上に上がっているにもかかわらず、事業費の推計や優先順位が全く示されていない。将来を見据えた事業費推計、財源推計を示し、どのように財政規律を維持していくのか伺う。

毎年実施していた事業費推計は、平成25年度の機構改革に合わせ再検討した結果、実施計画策定時に行うこととした。29年度から開始した第6次実施計画は、一般会計の財源推計を実施し適切な財政運営に努めている。27年度からは、総合政策会議構成員と各部長との間で年3回の政策協議を実施し、政策課題の解決を図っている。また、民間活力を最大限活用することも視野に入れ、財政負担を抑制するとともに、今後も将来を見据えた事業の再検証と制度設計、その財源と将来の財政負担など慎重に検討の上、限られた財源を有効に配分し、健全財政の維持に努めたい。

保育需要増加への対応は

今後の保育需要増加に伴う体制整備と課題は。また、送迎保育ステーションの拡充について伺う。

本市では女性の就業率が80%になると、0歳から2歳児だけで新たに2000人程度の保育の受け皿が必要になってくる。そのための対応として、0歳から2歳児では小規模保育施設の整備、3歳から5歳児では幼稚園の預かり保育の拡充を中心に整備を進めていく。課題としては、小規模保育施設卒園後の児童の受け入れ先の確保と考えている。また、送迎保育ステーションの拡充については、平成30年4月から、現在の松戸地区に加え、新松戸地区に開設する予定である。

特別支援学級の増設

巡回型通級指導教室の導入を

平成30年度から、巡回型通級指導教室が導入される背景および見込まれる効果について伺う。

一般質問

3月定例会では3月1日・2日・5日にわたり、市長の施政方針の内容を中心に市政に関する一般質問を行いました。
5会派が代表質問を、会派に属さない議員4人がそれぞれ質問しました。
なお、今回から、代表質問は、会派の構成人数により決まる発言時間に応じた紙面配分で、主な質問・答弁を掲載しています。

問 本市の小学校では、通級指導教室の利用が必要な児童が増え、現在設置している学校まで時間をかけて通学するなど、児童や保護者への負担が大きくなっている。巡回型通級指導教室は、児童が指導日に設置校に通学するものではなく、教員が小学校4校を巡回して指導を行う形態であり、利用する児童の負担を軽減できる。また、通級指導教員が巡回することで担任との連携も密になり、充実した支援が受けられるとともに、個別指導や小集団での指導から、学級集団の指導へと連続性のある学びが実現でき、高い教育的効果が期待できると考えている。

中小企業への設備投資を

問 中小企業の投資を後押しするためにも、導入促進基本計画策定と固定資産税の特例率等の設定を積極的に進めるべきと考えるが、本市の見解を伺う。

答 現在、本市では特例措置の根拠となる「生産性向上特別措置法案」に基づき、情報の収集や分析に努めている。また、この特例措置を導入した場合の税収への影響、特例措置の目的である事業者の労働生産性向上への貢献度、国の「ものづくり補助金」等の優先採択による事業者メリット、近隣自治体の動向等を総合的に勘案しているところである。今回の施策は、市内中小企業の設備投資に大きなインパクトを与えたいと思われ、国の速い動きに遅れて機会を逸しないよう、引き続き精力的に検討を進めていきたいと考えている。

まつど自民

田居 照康

新たな総合計画の

基本構想・基本計画の理念

問 平成32年度に現在の総合計画が終了することに伴い、新たに策定する総合計画は、未来を描く大事な計画であり、将来に責任を持つ構想とすべきと考えるが、策定にあたりその理念について伺う。

答 市町村に対し義務付けられていた、総合計画の基本部分である「基本構想」の策定義務は、地方自治法の改正により撤廃された。これを受け、従来

の基本構想・基本計画・実施計画の3層構造以外の形や、行政だけでなく地域全体で目標を共有する形で総合計画を策定する自治体が現れている。本市においても、新たな総合計画は、義務付け撤廃後初めての策定となることから、その理念については、今後、市民等と共有することになると認識している。

市債残高の増加額は

問 現市長の在任期間中に増加した市債残高は。また、同期間における近隣市の市債残高の状況は。

答 本市の市債残高は、市長就任前の平成21年度末と比較し、28年度末で約248億円の増、29年度末の見込みで約292億円の増、30年度末の見込みで約322億円の増である。近隣市の状況は、21年度と比較し、28年度末で、千葉市が約313億円の増、船橋市が約484億円の増、市川市が約147億円の減、柏市が約217億円の減となっている。

新松戸七丁目地区と

流山市木地区との接道

問 神明堀架橋を含めた新松戸七丁目地区と流山市木地区との道路ネットワーク整備事業について、平成30年度当初予算に計上されていないが、その必要性を認識しているのか伺う。

答 現在、市道1地区826号に交通量が集中し危険な状況であることから、交通分散化と安全性確保を図るため、基幹となる3箇所の接続は必要と考えている。これに南流山駅方面へのバス路線延伸も考慮し策定した道路ネットワーク整備について、地元説明会等を行ってきた。説明会では、早期着手を求める一方で、安全対策や環境保全への懸念の声もあり、丁寧な説明に時間を要していることから、当初予算への計上を見送ったが、一定の理解が得られた段階で、補正予算により進めたいと考えている。

シティホテル誘致条例と民泊への対応

問 松戸駅周辺のにぎわいづくりのため、シティホテル誘致条例を再度条例化し、誘致をアピールしてはどうか。また、住宅宿泊事業法（民泊新法）施行に伴い、民泊への対応を講じることが必要と考えるが、その方向性について伺う。

答 市内へシティホテルを誘致するため制定した

シティホテル誘致条例は、適用期限が経過したが、その後も、ホテルやコンベンションホールの誘致が求められていることから、現在は、ホテル等立地促進補助金により誘致を進めている。今後も、この補助金の活用とともに、誘致への支援のあり方について調査・研究していきたい。

民泊については、国内でも民泊サービスが急速に普及しており、今後も民泊利用率の増加が予想されている。この状況を踏まえ、本市への訪日外国人をどう増やしていくのかを、関係事業者等の意見も参考にしながら検討する予定である。この検討過程において、民泊事業者だけでなく、ホテル事業者の状況を把握し、それぞれのニーズを捉えた上で、施策の方向性を決定していきたいと考えている。

市民クラブ

大井 知敏

市長施政方針「音楽の街まつど」

問 本市が誇れるものとして「音楽の街まつど」をあげたが、施政方針等の内容への記述はほとんどなかった。本市の魅力として期待できる素材と考えるが、見解を伺う。

答 本市では、戸定邸や齋藤邸、市議会議場を会場に、音楽を市民が広く楽しめるよう企画しているが、生かし切れていないと感じている。市民文化祭が70周年を迎えることをチャンスと捉え、この中で市全体での音楽活動としての活性化を期待している。

高齢者がいつまでも

元気に暮らせるまちづくり

問 高齢者と子育て分野の政策的なバランスをどのように捉えているのか。また、高齢者の買い物や医療・介護サービス利用の対策について伺う。

答 地域においては、高齢者以外の分野も含めた支援の重要性が高まり、地域共生社会の実現に向けた取り組みの推進が求められている。現在、本市では、さまざまな形で地域ケア会議を開催し、地域の問題を地域で解決する場としている。身近な地域での買い物や医療・介護の提供への対策については、

地域ケア会議での課題となっており、スーパージョーを經由する無料送迎バスの運行などの対応策も協議され、今後も地域ケア会議の中で検討していきたい。

公共施設再編の考え方と

今後の取り組みは

問 公共施設の再編として、地域性や公平性、財政状況等を総合的に勘案し優先順位の決定ができ、その上、フィルター機能を持った強い権限を有した部署が必要と考えるが、市の見解を伺う。

答 公共施設再編においては、各部担当との協議を行い、政策協議や総合政策会議、公共施設再編整備検討委員会における情報の共有化や総合的な調整を図る仕組みづくりの検討が必要と認識している。今後は、基本計画の策定と平行し、民間活力の導入や各省市における財政措置等の活用を検討するとともに、公共施設サービスの機能を維持しながら、コスト削減のため、公共施設の適正配置、適量化に向け、集約、複合化、多機能化を図る取り組みが至上命題と考えている。

議会と執行部の連携関係について

問 最近、行政側が財政措置や市民ニーズ、過去の経緯、将来の展望など細心の注意を払わず、最後の決定だけを議会に預ける案件が見られる。この状況が続くようであれば、今後の市政運営に悪い影響を及ぼすと危惧するが、本市の考えを伺う。

答 二元代表制の行政の役割としては、議会に対し議案並びに重要施策等の説明責任を果たすことと理解している。その役割を果たすため、執行部において相互の連絡を図り、一体となって行政機能を発揮することが必要と考えている。今後も執行部の役割として、議会と信頼関係を構築し、責任を共有できるように努めていきたい。

政策実行フォーラム

原 裕二

今後の松戸市の人口

問 税金を確保するためには、生産年齢人口をいかにして増加させるかが重要と考える。そのためには子育て施策とともに、住宅、雇用政策を充実させ、総合的に市外にアピールすることにより近隣自治体に差をつけることが必要と考えるが、市の見解について伺う。

答 本市としては、子育て施策だけで生産年齢人口の増加を達成することは難しいと認識しており、住宅、雇用政策についても重要と考えている。政策協議においても、雇用と経済活性化は最重要課題として位置づけており、平成30年度から積極的に取り組んでいこうと考えている。さらに、生産年齢人口の社会増を達成するためには、まちの魅力を高めることも重要であると考えている。

松戸市病院運営審議会の答申を受けて

問 答申には、旧市立病院跡地を売却し、それを企業債の償還に充てることが妥当とあるが、この答申を受けて、今後の旧市立病院跡地の方向性をどのように考えているか。

答 病院事業として、旧市立病院跡地の売却を検討する意思があることは事実であるが、一方、今後の本市における医療体制の方向性と整合性を図り活用すべきとも認識している。また、周辺住民からも今後の跡地活用の方向性や活用されるまでの維持管理、さらには防犯対策など多くの要望があり、早期に方向性を示す必要がある。

現在、病院運営審議会において、東松戸病院と梨香苑の方向性を審議しており、その結果が重要になってくると考えている。

子どもの未来応援プランについて

問 当該プランにおける子どもの貧困対策は、現行の制度をそのまま活用して対応するものが多いが、新規の施策による事業や現行の制度を拡大することについて、どう考えるか。

答 本市の子どもの貧困対策である「松戸市子どもの未来応援プラン」は、子育て世帯生活実態調査や「ひとり親アンケート」、市が保有する貧困に関連したデータなどをもとに「松戸市子どもの未来応援会議」での議論等を踏まえて作成した。

子どもの貧困対策については、当該プランに掲げた支援策を着実に実施していくことが重要と考えており、今後、新たな課題については、その都度、検討していこうと考えている。

日本共産党

宇津野 史行

市民生活の基礎である平和と憲法への

市長の認識とリーダーシップの発揮

問 オスプレイの木更津への配備計画について千葉県知事に受け入れ拒否を求める考えはないか。また、自民党が憲法第9条改憲案の策定作業を進める中で、その立場としての、平和と憲法について認識を伺う。

答 昭和59年12月17日に市議会の全会一致による世界平和都市宣言に関する決議を受け、60年3月4日に世界平和都市宣言をし、以来松戸市としてさまざまな平和事業を取り組む一方、市政を預かる立場としてこれまでも憲法を遵守してきた。憲法改正等については、国の施策並びに国民的な議論の中で検討されるべきと考える。

市長の公約と

松戸市立総合医療センター

問 市長は、市立病院現地で替え費用64億円を公約に掲げ当選したが、専門委員会より不可能との結論が出され公約を撤回した。松戸市総合医療センターの建設費総額として、周辺道路整備も含めた総額に加え、賃借しながら買い進めていく用地関連の費用および今後の見通しについて具体的に伺う。

答 新病院建設に係る総事業費については、平成29年12月末現在で予算ベースを一部決算額に置き換え約289億6千万円と見込んでいる。用地関連の費用のうち、25年度から29年度までの土地の購入費と借地料を合わせ約3億7千万円となる。周辺道路整備費用については、約6億9千万円となる。また、今後の用地関連費用の見通しとして、30年度から58年度までの借地料や土地購入費などを合わせ約23億円となり、そのうち借地料は7億6千万円となる。

公立中学校夜間学級の開設

問 平成31年4月の開設を目指す夜間学級について受け入れの規模をどの程度と考え、教職員が不足した場合、市独自で配置する考えはないか伺う。

答 夜間中学の教職員は、義務教育標準法に基づき、千葉県教育委員会より、配置される予定である。市教育委員会としては、千葉県教育委員会と教員配置について引き続き協議を行っているところである。

無所属

中田 京

高齢市民に求めるものは

問 自分で考え行動できる元気な高齢者がこのまちの資源と思うが、行政は、高齢市民に何を求めるのか伺う。

答 本市では、高齢者には福祉の対象として支えられる存在だけではなく、地域の支え手としても期待しており、地域に見合ったサービスづくりなどにも協力をお願いしたいと考えている。働く機会を提供するシルバー人材センターの活動や、ボランティア活動として仕事で培った経験やスキルを活かす「松戸プロジェクト」のプロボノワーカーとして、活躍いただきたいと考えている。

松戸駅改良計画の進捗は

桜井 秀三

問 松戸駅東口へのエスカレーターの設置予定について伺う。

答 松戸駅周辺まちづくり基本構想では、東口デッキを、松戸駅を中心として江戸川と相模台の新拠点ゾーンを結ぶシンボル軸の一部と位置づけており、再開発等に合わせ、デッキをバリアフリー化し、周辺建物への接続や延伸を行う予定である。

これを受け、松戸駅東口におけるデッキ網の強化や回遊性の向上を図るためにも、再開発等による建物の更新時に合わせ、エスカレーターを適切な箇所へ設置できるよう検討していきたい。

大橋 博

五香一号踏切の道路拡幅の進捗状況は

問 五香一号踏切の道路拡幅における鉄道事業者との協議や今後のスケジュールについて伺う。

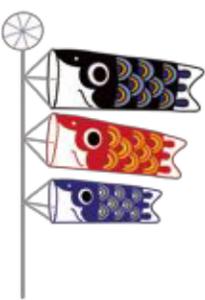
答 当該踏切は、市立第四中学校の南東に位置し、幅員の一部が狭くなっているため、自動車が譲り合いながら通行している状況である。市においては、踏切道拡幅に向け、関係地権者に協力を依頼し、新京成電鉄には事前協議を申し入れ、前向きな回答をいただいた。進捗としては、平成29年度に市が道路拡幅に必要な測量や予備設計を実施しており、30年度には新京成電鉄が踏切拡幅の設計を進める予定になっている。

山中 啓之

市長の政治姿勢について

問 市長の2期を通じた政治的行動について、最も達成できなかったことや、8年間を振り返り最も反省していることは何か。

答 最も達成できなかったこととしては、松戸市総合戦略における4本柱の4つ目にあたる、雇用や経済活性化の課題がある。具体的には、北部市場跡地に大型商業施設の立地計画がある一方で、伊勢丹松戸店が営業終了するなど、十分に達成できていないという認識を持っている。また、雇用や経済の活性化という課題の解決に向け、もっとうまい方法が無かったらどうかという反省の念もある。





受賞者の皆さんと深山能一議長

松戸市議会表彰

2月28日に、松戸市議会表彰を本会議場で執り行いました。
この表彰は、スポーツ・学術・文化・社会活動等で、特に功績のあった個人・団体に対し、松戸市議会が表彰を行い、功労に報いるとともに、市民の郷土愛を育むことを目的としています。

個人表彰

- 松本 詩音 (市立松戸高等学校) 一列右から一番目
★第21回関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会 男子400m 第1位
- ハッサン・ナワール (市立第五中学校) 一列右から二番目
★第44回全日本中学校陸上競技選手権大会 女子200m 優勝
- 田中 拓進 (市立南部小学校) 一列右から三番目
★第3回全国小学生フェンシング選手権大会 小学男子3・4年生の部 第1位
- 松本 美羽 (市立第四中学校) 一列右から四番目
★第74回全国学校秀作美術展 中学校の部 文部科学大臣賞

団体表彰

- 市立小金中学校 吹奏楽部
代表 森迫 葵衣 二列右から一番目
- 代表 山川 紗来 二列右から二番目
★第65回全日本吹奏楽コンクール 中学校の部 金賞
- 市立第六中学校 管弦楽部
代表 宮下 結衣 二列右から三番目
★第23回日本管楽合奏コンテスト全国大会 中学校A部門 最優秀賞
- 市立第四中学校 吹奏楽部
代表 吉田 安祐佳 二列右から四番目
★第65回全日本吹奏楽コンクール 中学校の部 金賞
- 市立第一中学校 吹奏楽部
代表 岡 茉里 二列右から五番目
★第23回日本管楽合奏コンテスト全国大会 中学校B部門 最優秀賞
- 聖徳大学附属女子中学校高等学校 吹奏楽部
代表 飯笹 未夢 三列右から一番目
代表 元吉 杏莉 三列右から二番目
★第17回東日本中学校吹奏楽大会 高等学校部門 金賞
- 聖徳大学附属女子中学校高等学校 書道部
代表 安原 莉夏 三列右から三番目
★第41回学芸書道全国展 最優秀団体賞
- 市立小金南中学校 吹奏楽部
代表 石井 ゆらら 三列右から四番目
★第23回日本管楽合奏コンテスト全国大会 中学校B部門 最優秀賞
- 市立小金中学校 科学部
代表 三山 貴也 三列右から五番目
★ロボカップ2017名古屋世界大会 オンステージパフォーマンス部門 第1位

(敬称略)



市立小金中学校吹奏楽部の皆さんに「宝島」「小さな世界」「ユーロビート・ディズニー・メドレー」「人生のメリーゴーランド」を演奏していただきました。

6月定例会の開催予定

平成30年松戸市議会6月定例会は、6月13日(水)から6月29日(金)まで、いずれも午前10時より開催する予定です。
請願・陳情は、6月4日(月) 正午が提出期限です。

日程	主な内容
6月13日(水)	招集日・本会議(議案提案理由説明)
14日(木)	本会議(一般質問)
15日(金)	本会議(一般質問)
18日(月)	本会議(一般質問)
19日(火)	本会議(一般質問)
20日(水)	本会議(一般質問・議案質疑)
22日(金)	総務財務常任委員会
25日(月)	健康福祉常任委員会
26日(火)	教育環境常任委員会
27日(水)	建設経済常任委員会
29日(金)	本会議(議案等の採決)

※このほか、随時、委員会が開催される場合があります。また、開催予定が変更となる場合もありますので、ホームページ等でご確認ください。

編集の窓

新緑が目まぶしい季節となりました。
5月5日の「こどもの日」は、さかのぼること70年前の昭和23年に「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」ことを趣旨に、男の子、女の子の隔てなく国民の祝日として制定されました。
子育てをめぐる多くの課題が山積する中、本市議会としても、未来の宝である子どもたちが健やかに育つための環境づくりに取り組んでまいります。



次回発行予定は8月1日(水)です。